

小児

コーナー



あじま診療所
所長 小児科
医師 森 英一

「夜尿症」の治療方法は？

夜尿症は、夜間の尿をつくったり、ためたりするメカニズムの異常や、睡眠覚醒の異常等の様々な要因が複雑に関与した症候群とされています。夜眠っている間につくられる尿の量が多かったり(多尿型)、尿をためる膀胱が小さい(膀胱型)と夜寝ている間におもらしをしてしまい「おねしょ」をしてしまいます。小学校に入る頃になっても月に数回以上、おねしょをすることを「夜尿症」といっています。

夜尿症の治療には、大きく分けて生活指導、行動療法と薬物療法があります。生活の三原則としては「起こさない」「あせらない」「おこらない(気にしない)」ということが言われています。昼間は十分水分をとっても良いが、寝る前3時間はできるだけ水分をとらない。1日に1回でいいから、排尿をできるだけがまんしてがまん尿量を測定するといったことだけで、かなり改善する子もいます。薬としては、尿量を少なくする作用の薬や、膀胱の機能を安定させて、がまん尿量を増やす薬があります。

宿泊を伴う行事の前に心配されて相談に来院されることも多いですが、治療の効果が表れるのには個人差もあります。週の半分以上夜尿があり、本人も気にしているようであれば受診をお勧めします。

